平成28年度　全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立　　二島　　中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。
※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

⑴ 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

⑵ 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

⑶ 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

⑴ 実技に関する調査

※
［8種目］ 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

⑵ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

＜男子＞

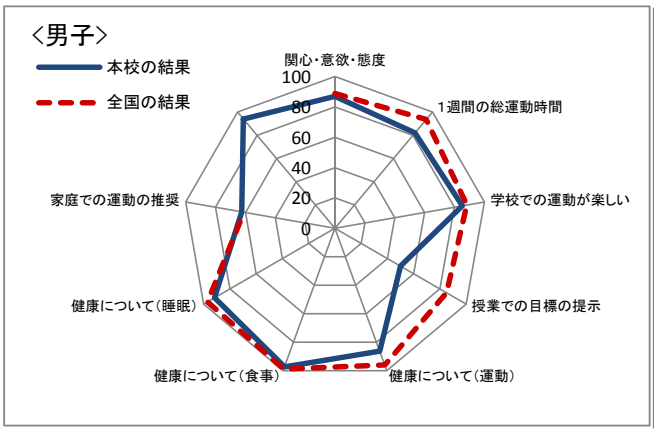
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
本市	29.55	28.06	44.81	52.32	388.77	87.33	7.93	197.50	21.05	43.99
全国平均以上の種目		○		○	○	○		○		

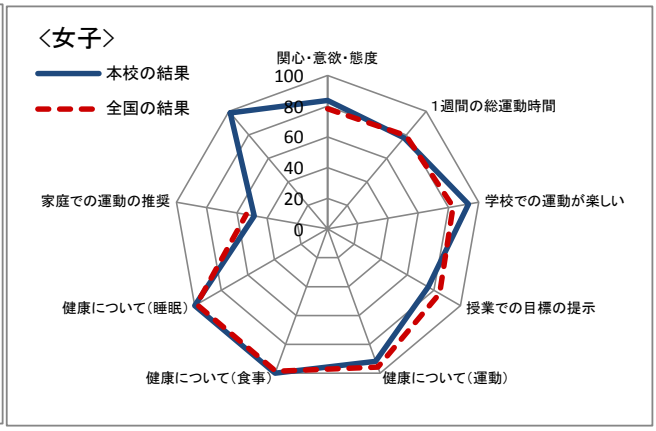
＜女子＞

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56
本市	24.21	23.51	46.78	46.51	293.87	58.23	8.81	169.02	12.76	50.04
全国平均以上の種目		○		○		○		○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート





質問紙調査の結果分析

生徒同士が良い人間関係づくりに努力し、お互いの信頼関係が生まれ、楽しんで授業に取り組む様子が見られる。自己の記録の向上に関心・意欲を持ち、真剣に新体力テストに挑戦する生徒が増え、男子5種目、女子5種目、女子体力総合点において、全国平均を上回ることができた。男子94．0%、女子98．6%の生徒が「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことはある。」と答えてる。日頃の授業では、トレーニングの仕方について、効果的なやり方を指導し、量だけでなく質にこだわる生徒が増えてきた。昼休み等でも、グランドで運動する生徒が多くなった。男子生徒に授業での目標を意識させるよう、さらに指導の工夫をしていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で）

○体育大会の取り組み後、体育の授業で持久走を帯び単元で取り組み、体力向上を図っている。
○保健体育の授業で、筋力向上・持久力向上・柔軟性向上・瞬発力向上等につながるトレーニングを継続して取り入れることができた。今後も継続して授業の中に取り入れていく。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

引き続き体育の始業前の準備運動に持久走、筋力トレーニング、ダンスフォー・ザ・フュチャー等を帯単元で取り組み、さらなる生徒の持久力、筋力等の体力アップを図る。また、全校でクラスマッチや持久走大会等に取り組み、生徒の体力アップへのモチベーションを高めたい。